

## 第5学年 図工科

教科 目 標	(1)	創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
	(2)	材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。
	(3)	親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。

月	単元・題材	時 数	教材のねらいと主な学習活動	評価の観点
4 月	1 <b>絵に表わす</b>  <b>手を描こう</b>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の手をよく観察し、指の動き、手のしわなどを丁寧に描く。</li> <li>1 自分の手をよく見て、デッサンをする。</li> <li>2 手のしわ、光の当たり方などを観察して絵具を混ぜ合わせ色を塗る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の手を描き表すことに興味をもって取り組もうとしている。【関】</li> <li>○ 手の様子をよく見て線の形や色などを考え、試行錯誤しながら表し方を工夫している。【技】</li> <li>○ 自他の作品を見て、表された気持ちや感じを想像し、お互いのよさを感じ取っている。【鑑】</li> </ul>
5 月	2 <b>立体に表す</b>  <b>タワーをたてよう</b>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ペンチの使い方に慣れ、アルミ針金の特徴を生かし、様々な立て方や装飾を試み、自分の思いに合った形になるよう工夫する。</li> <li>1 アルミ針金を曲げたり束ねたり絡めたりしているような立て方を試す。</li> <li>2 アルミ針金の特徴を生かした立て方を基に思い付いたタワーを構想してつくる。</li> <li>3 つくりながら思い付いたアイデアを生かして形を整えたり装飾を加えたりする。</li> <li>4 タワーに名前を付け、友人と見合ったりしながら、アルミ針金の特徴を生かした表現やタワーの面白さ、美しさについて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アルミ針金を使ってタワーをつくることに取り組もうとしている。【関】</li> <li>○ アルミ針金を曲げたり、束ねて立てたりしながら自分のイメージに合う形を考えている。【想】</li> <li>○ ペンチを正しく安全に使い、アルミ針金の曲げ方や接合を工夫している。【技】</li> <li>○ 自他の作品を鑑賞し、立て方や装飾の工夫を感じ取っている。【鑑】</li> <li>○ ペンチの使い方に慣れ、アルミ針金の特徴を生かし、様々な立て方や装飾を試み、自分の思いに合った形になるよう工夫している。【技】</li> <li>○ アルミ針金の材質の特徴や、線で構成さ</li> </ul>
6 月	3 <b>立体に表す</b>  <b>ねん土の板から</b>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が表したい立体的な形になるよう、粘土の板の厚さや起こし方、土台の使い方などを工夫する。</li> <li>1 粘土を板状にして形を切り抜いたり、模様を付けたりする。</li> <li>2 粘土の板を起こしたり曲げたりして、立体的な形をつくりながら想像を広げ、思い付いた生き物をつくる。</li> <li>3 全体のイメージに合わせて、部品をつくり、接合する。</li> <li>4 友人の表し方を参考にしながら加工したり接合したりする。</li> <li>5 どんな生き物を表したか、友人と紹介し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 変形させた粘土の板から思い付いた生き物を立体に表す活動に取り組もうとしている。【関】</li> <li>○ 粘土の板を曲げたりねじったりしてできる形から、つくりたい生き物を思い付いている。【想】</li> <li>○ 粘土の板の厚さや曲げ方、部品の付け方、へらなどの用具の使い方を工夫している。【技】</li> <li>○ 友人の作品の表し方の工夫をとらえている。【鑑】</li> <li>○ 自分が表したい立体的な形になるよう、粘土の板の厚さや起こし方、土台の使い方などを工夫している。【技】</li> <li>○ 友人の作品の工夫を自分の表現の参考</li> </ul>

7・9月	4 工作に表す 楽しく美しく伝えよう/ ポスターで表す (4~8)	6 ● 表したい内容の特徴を踏まえ、自分の思いが効果的に伝わる絵と言葉の形や色、表し方などを考え描く。 1 ポスターに表したいことについて、形や色、イメージ、言葉などを考え、アイデアスケッチに表す。 2 表すものそれぞれの形や色、大きさなどの組合せや構成の美しさを考えて表す。その際、コラージュなどの方法を取り入れてもよい。 3 できたポスターを貼りたい場所に掲示したり、友人の作品と並べて見たりして、表した意図や表し方の特徴などについて話し合う。	○ 人に伝えたい内容を表すポスターをつくることに関心を持ち、自分の思いや用途などを考えて取り組もうとしている。【関】 ○ 自分の思いが伝わるような絵と言葉の組合せを考えている。【想】 ○ 表したい感じや用途に合わせて、ポスターの表し方を工夫している。【技】 ○ 友人の作品の意図を考えたり、様々な表し方を見て、その特徴について話し合ったりして、よさを感じ取っている。【鑑】 ○ 表したい内容の特徴を踏まえ、自分の思いが効果的に伝わる絵と言葉の形や色、表し方などを考えている。【想】 ○ 材料や用具に関するこれまでの経験や技能を取り入れ、画面の構成や描画材の使い方、材料の組合せなどを工夫している。【技】
9月	5 絵に表す え？名前で絵	4 ● 文字を変形させたり、色の組合せを考えたりしながら、表し方を工夫している。 名前の文字をアイデアスケッチし、試行錯誤しながら文字の形や色の組合せについて考え、表す。 名前の文字の形から、それに合う色を考えたり、色の組合せを試したりする。 自他の作品から、文字の変形の工夫や色のよさなどを感じ取る。	○ 文字を様々な形に変形させたり色を使ったりしながら、絵に表していくことに関心を持ち、取り組もうとしている。【関】 ○ 名前の文字を基に絵に表すために、アイデアスケッチをしながら文字の形や色を考えている。【想】 ○ 文字を変形させたり、色の組合せを考えたりしながら、表し方を工夫している。【技】 ○ 自他の作品の文字の形、色のよさや美しさ、面白さを感じ取っている。【鑑】 ○ 様々な種類の文字について、何通りもの変形や、色の組合せなどを考えている。 ○ 【想】 文字の形や色が効果的に見えるように、自分のイメージに合った描画材を描画材を選び、表し方を工夫している。【技】
9・10月	6 工作に表す 板を切りぬいて/ ゆらゆらモビール	6 ● 無駄のない木取りをし、安全に電動糸のこぎりを使って板を切り抜き、自分なりの思いを工夫して表す。 電動糸のこぎりの安全な使い方を確認する。 1 風で揺れると楽しい形や色の絵を考え、板材に木取りをする。 2 電動糸のこぎりを使って板材を切断する。 3 切断したピースを着色する。 4 全体のバランスを見ながらピースを糸でつないでモビールをつくり、動きを楽しむ。	○ 風で揺れるモビールを、1枚の板材を生かして楽しみながらつくる活動に取り組もうとしている。【関】 ○ 揺れる動きを意識して、モビールのテーマや、形や色を思い付いている。【想】 ○ 安全に電動糸のこぎりを使いながら、板材の切り方を工夫している。【技】 ○ 自分や友人がつくった作品を飾り、互いの表現のよさや美しさを感じ取っている。 ○ 【鑑】 モビール全体のバランスを見ながら、ピースの形や色、ひもの長さや取り付け位置などを考えている。【想】 ○ 無駄のない木取りをし、安全に電動糸のこぎりを使って板を切り抜き、自分なりの思いを工夫して表している。【技】

10 ・ 11 月	7 <b>絵に表す</b>  感じたことを 伝えたい	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の表したいことが明確に伝わるよう、様々な構図や表現方法を試すなどして、自分のイメージに合った表現を工夫する。</li> <li>1 自分の生活や身の回りを見つめて、感じたり伝えたりしたい情景を思い浮かべる。</li> <li>2 感じたことや伝えたいことを基に風景を切り取ったり、表し方を構想したりして絵に表す。</li> <li>3 表したいことに合った表現になるよう、材料や用具の特徴を生かしたり、様々な表現方法を組み合わせたりして工夫する。</li> <li>4 自他の作品を鑑賞し、友人と感じ方や表現について話し合い、見方や感じ方を広げようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の身の回りから表したいことを見付け、それを絵に表して伝えることに取り組もうとしている。【関】</li> <li>○ 表したいことが伝わるように、形や色、構図などを考えている。【想】</li> <li>○ 表したいことが伝わるように、材料や用具の特徴を生かし、表現方法、構図などを工夫している。【技】</li> <li>○ 感じ方や表現の仕方について友人と話し合い、自他の作品のよさや表現の工夫を感じ取っている。【鑑】</li> <li>○ 自分が感じた情景にふさわしい表し方になるように、形や色、紙の種類や大きさなどを考えている。【想】</li> <li>○ 自分の表したいことが明確に伝わるよう、様々な様々な構図や表現方法を試すなどして、自分のイメージに合った表現を工夫している。【技】</li> </ul>
11 ・ 12 月	8 <b>工作に表す</b>  板を切りぬいて/ ゆかいなパズル	8	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 電動糸のこぎりの安全な使い方を確認する。</li> <li>2 楽しい形や色のパズルの絵を考え、板材に木取りをする。</li> <li>3 電動糸のこぎりで板材を切断する。</li> <li>4 切断したピースを着色する。</li> <li>5 友人と一緒に、パズルで遊ぶ。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1枚の板材を生かして、楽しみながらパズルをつくる活動に取り組もうとしている。</li> <li>○ 【関】</li> <li>○ 切り抜く形を思い付き、形や色の面白さのあるパズルを考えている。【想】</li> <li>○ 安全に電動糸のこぎりを使いながら、板材の切り方を工夫している。【技】</li> <li>○ 自分や友人がつくったパズルで遊びながら、互いの表現のよさを感じ取っている。【鑑】</li> <li>○ 切り抜いた一つ一つのピースと、組み立てたパズル全体の、両方の形や色のよさや面白さを考えている。【想】</li> <li>○ 無駄のない木取りをし、安全に電動糸の</li> </ul>
1 月	9 <b>絵に表す</b>  刷り重ねて表そう/ 一版多色木はん	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の表したいことに合うように、彫る線の太さや絵の具の濃さなどを工夫する。</li> <li>1 一版多色木版の表し方について、教科書を参考にして理解する。</li> <li>2 自分の表したい場面を決め、版木に下絵をかいて、主に線彫りで彫る。</li> <li>3 色画用紙の色の濃さとインクの色の濃さとを確かめながら刷る。</li> <li>4 できた作品を友人と見せ合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表し方を理解し、一版多色木版に表すことに取り組もうとしている。【関】</li> <li>○ 一版多色木版の表し方の特徴から、表したいことを見付けたり、表し方の順序を考えたりしている。【想】</li> <li>○ 自分の表したいことに合うように、彫る線の太さや絵の具の濃さなどを工夫している。【技】</li> <li>○ 作品を見せ合いながら、表したかったことなどについて話し合い、表し方の特徴や一版多色木版に表すよさを感じ取っている。【鑑】</li> <li>○ 表したいことに合わせて、構図や配色、色を付けて刷る順序などを工夫して表している。【技】</li> <li>○ 作品を見せ合いながら、彫りや刷りの効</li> </ul>

2月	10 工作に表す アニメーションをつくろう/ パラパラアニメーション	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 見たことのある面白い動きを表現に取り入れたり、表したいことに合わせて形の変化を工夫したりして表している。</li> <li>1 教科書を見てパラパラアニメーションの仕組みを知る。</li> <li>2 変化する形の始めと終わりを決め、間のコマ数と形の変化を考える。</li> <li>3 かいたコマの絵を順番に並べて形の変化を確かめる。</li> <li>4 コマの絵を重ねて端をホチキスでとめ、めくりやすいように紙を両手で持って上下にも</li> <li>5 む。</li> <li>6 パラパラアニメーションを試し、必要であれば新しいコマを加える。</li> </ul> <p>つくったアニメーションを友人と見合い、形の変化や表し方のよさについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パラパラアニメーションの仕組みに関心を持ち、動きが連続して見える楽しさを味わおうとしている。【関】</li> <li>○ パラパラアニメーションの仕組みを使って表したいことを思い付いたり、形や色、ストーリーなどを考えたりしている。【想】</li> <li>○ 見たことのある面白い動きを表現に取り入れたり、表したいことに合わせて形の変化を工夫したりして表している。【技】</li> <li>○ 友人と作品を見合い、表現した思いや意図、表し方の特徴について話し合い、そのよさを感じ取っている。【鑑】</li> <li>○ 実際に動かしてみ、動きや変化などが、さらに楽しいものになるような形や色などの効果を考えている。【想】</li> <li>○ 自分の表現を見直して、新しいコマを組み入れたり、順番を入れ換えたりするなど、効果的な動きや変化が表れるように工夫している。【技】</li> </ul>
3月	11 鑑賞する アート・レポーターになって	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 美術作品をよく見て、紹介する文章にまとめながら、作品に表された形や色のよさや面白さ、動きや奥行きを感じなどを複数の視点から感じ取る。</li> <li>感じたこと、見たこと、考えたことなどを言葉に表すことを意識して、美術作品を鑑賞する。</li> <li>1 作品から受けた印象を文章にまとめて発表し合う。</li> <li>2 友人の印象と自分の受けた印象との共通点や違いについて知る。</li> <li>3</li> <li>4 * 表現活動への発展例 美術作品をよく見て、ものの重なりや奥行きを考えて、画用紙や段ボールなどを主材料に、立体に表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美術作品を見て、自分が感じた内容を伝えるための文章にまとめることを、楽しもうとしている。【関】</li> <li>○ 美術作品をよく見て、紹介する文章にまとめながら、作品の全体の印象や細かい部分の特徴などをとらえている。【鑑】</li> <li>○ 美術作品を見て、自分が読み取ったり考えたりした内容を、人に伝えるための文章にまとめることを、楽しもうとしている。【関】</li> <li>○ 美術作品をよく見て、紹介する文章にまとめながら、作品に表された形や色のよさや面白さ、動きや奥行きを感じなどを複数の視点から感じ取っている。【鑑】</li> </ul>